

# はなの輪

広島市植物公園植物友の会

2025年1月-3月 通巻第182号



園長のおすすめ 2024年1月17日号より

## ナンヨウザクラ *Jatropha integerrima* Jacq.

葉がバイオリンに似ていることから、提琴桜（テイキンサクラ）と言われますが、似ているかな。また、先の大戦中に日本兵が、花の形や色がサクラとよく似ていることから名付けましたが、サクラの仲間ではありません。

キューバ原産のトウダイグサ科ヤトロファ属で常緑樹、樹高が3m弱、枝先から伸びた花茎に直径3cm弱の赤系色の5弁花を多数つけます。花は日本の気候では夏にかけて咲きますが、大温室では周年で花をみせてくれます。

（園内位置：大温室）

〔写真・文 永井 親雄〕

## 園長のおすすめ

植物公園ホームページでは、園長のおすすめを定期連載中です。

見ごろの植物や最新のイベント情報も掲載しています。



<http://www.hiroshima-bot.jp/tomonokai/>

本園では、1976年の開園時よりラン科植物の収集・栽培に力を入れており、（公社）日本植物園協会の特定植物保全拠点園（ラン科）にも指定されています。

多くのコレクションがあることから、温室では一年を通してランの花を楽しめますが、多くのランは日の長さや気温の変化を感じ取ることで、決まった時期に花を咲かせます。

ランは秋咲き、冬咲き、夏咲きの3つに大きく分けることができます。また、その多くが冬から春にかけて花を咲かせるため、冬の花の印象がありますが、中には不定期に一年中咲いている種類もあります。

この文章を執筆している11月は、秋咲きのカトレヤが終わる時期ですが、担当者のおすすめは、これから見頃を迎える冬咲きカトレヤたちです。代表的な種として「カトレヤ トリアナエ」（写真1）というコロンビア原産のカトレヤがあります。とてもふっくらした花弁に特徴があり、古くから栽培されているカトレヤの代表的な種類です。比較的丈夫な印象があり、初めて洋ランを育てたい人におすすめのランです。

これからの時期はたくさんのランが見頃になり、最盛期を迎えます。植物公園のランコレクションは、花が咲いていれば毎日のように展示を変えているので、いつでも新しい花を観ることができます。ぜひ、ランの花を楽しみにしてください。

[写真・文：上野明 楽]



写真1 カトレヤ トリアナエ（秋～冬咲き）



写真2 カトレヤ ワルケリアナ（秋～冬咲き）



写真3 カトレヤ ワルセウィッチー（夏咲き）

# 2025年1月～3月 展示会・イベント案内

2/8 (土)  
～ 2/13 (木)

バレンタイン  
フェスティバル

バレンタインデーに因んで、「99本のバラの花束」  
との記念撮影(8・9日)や切り花プレゼント(8日、  
11日午前9時～、各日先着100人)のほか、カカオや  
チョコレートに関する様々な催しを企画しています。

2/22 (土)  
～ 3/2 (日)

春の特別ラン展

今年のテーマは「ランで魅せる色の世界」、  
大温室をランで華やかに飾ります。会期中は、  
愛好団体による洋ラン販売と栽培相談も実施  
します。2月28日(金)は臨時開園します。

3/29 (土), 30(日)  
4/5 (土)

春の夜間開園  
(さくらまつり)

20時まで開園し、ライトアップやコンサートで  
夜桜を演出します。3/22(土)～4/13(日)の  
まつり期間には日中に桜観賞会などを行います。

## 展示会のご案内

新春小品盆栽展	共催：広島小品盆栽会	1/ 4～1/ 6	展示資料館
冬の鉢花展		1/ 8～2/ 2	展示温室
植物写真コンテスト作品展		1/11～2/11	展示資料館
広島市植物公園写生大会入賞作品展	協力：佐伯区地域起こし推進課	1/18～2/19	展示資料館 ロビー
おもと名品展	共催：日本おもと協会広島県支部	2/ 5～2/11	展示温室
フラワーデザイン展	共催：日本フラワーデザイナー協会広島県支部	2/22～2/28	展示資料館
「草木染の世界」展 ギャラリートーク(展示解説)3/23(日)午前11時～先着20名	共催：広島草木染の会	3/ 8～4/10	展示資料館
ゼラニウム展		3/ 8～4/13	展示温室



フラワーデザイン展



ゼラニウム展

# Event Information 2025 1-3

植物公園で開催されるイベントを紹介します

## 1月

**小品盆栽実演会** (先着100名程度)  
1月5日(日) 午後1時半～2時半

## 3月

**洋ラン実演会** (各日先着20名程度)  
3月1日(土)・2日(日) 午後1時半～2時半

**洋ラン栽培講習会** (各日先着100名)  
3月15日(土)・16日(日)  
午後1時半～2時半

**しいたけ栽培講習会・菌打ち体験会**  
(ホダ木が無くなり次第終了、1本800円)  
3月20日(木・祝) 午前10時～午後3時

\* イベントの内容は、一部変更になる場合があります。  
最新情報はホームページ・電話等でご確認ください。

## 2月

**おもと実演会** (先着20名程度)  
2月9日(日) 午後1時半～2時半

**絵本「ひと粒のチョコレートに」の朗読と  
チョコレートづくりの体験** (先着100名程度)  
2月9日(日) 午後1時半～3時

**明治食育セミナー「発見! チョコレートのひみつ」** (先着100名程度)  
2月11日(火・祝) 午後1時半～2時半

**フラワーデザイン実演会** (先着各回50名程度)  
2月23日(日・祝)  
午前11時～正午、午後1時～2時

**洋ラン講演会** (先着100名程度)  
2月23日(日・祝) 午後2時～3時  
演題: シラン、ワカラン??? ランの七不思議

**ランの小さなフラワーアレンジメント体験会**  
(先着合計20名、各回30分程度)  
2月24日(月・休) 午前10時～正午

**洋ラン実演会** (先着20名程度)  
2月24日(月・休) 午後1時半～2時半



植物うんちく語り  
年間スケジュール



講師 ラン研究のレジェンド  
筑波実験植物園  
**遊川 知久氏**

講師紹介  
(筑波実験植物園HP)



- \* 2月2日(日) 午後2時～、5-Days子ども文化科学館アポロホール(250人収容)にて研究活動発表会を実施します
- \* 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内しています
- \* 1/11, 1/28, 2/1, 2/25, 3/1, 3/25 各日午前11時～は、園内で職員による植物うんちく語りを実施しています
- \* 1月12日(日)・3月9日(日) 午後1時20分～3時は、植物友の会例会を実施します(要入会、年会費無料)

◇募集◇ ※往復ハガキに催し名・住所・氏名・電話番号(・希望回)を記入してお申込みください。  
植物公園のホームページ(Web申込のQRコード)からもお申込みいただけます

催し名・日程	内容等	定員	締切	Web申込
ショコラミルによるチョコ製造体験 2月8日(土) 11:00～正午、13:30～14:30	チョコレート作り専用石臼「ショコラミル」によるチョコレート作りを体験します。	各回10組 (抽選)	1月22日 【必着】	
子ども織物教室 3月23日(日) 13:00～14:00、15:00～16:00	小さな織機を使って、オリジナルの織物マットを作成します。 対象:小学生とその保護者 材料費:500円	各回10組 (抽選)	3月5日 【必着】	

デイゴ咲く、桜咲く Congratulatory flower for passing exams

植物公園で観賞できるデイゴの近縁種



ブラジルデイゴ



アメリカデイゴ (花は初夏)



カンヒザクラ

大学入試の合格を伝える電報の定番は、「サクラサク」。短い文章で確実に情報を伝えるために、合格電報には様々な地域性があるようです。沖縄ではサクラ（ソメイヨシノ）はそもそもないので、代わりにデイゴを用いるのだとか。ちなみに沖縄で桜といえばカンヒザクラを指します。

世界の珍ラン奇ラン Rare and Strange orchids of the world



パフィオペディラム サクハクリー



ネオムーレア ワリシー



プレウロタリス コレリー



テリミトラ パウシフローラ



オフリス ボンビリフロラ



ドラクラ アマリアエ

春の特別ラン展のテーマ展示は「世界の珍ラン奇ラン大集合」です。進化論で有名なあのダーウィンもランのなかまを熱心に研究に研究した一人であり、「ランの構造の変異ほど私を感動させたものはない」と語ったとか。昆虫と共に進化した、ランの花の多様性はとてもユニークです。写真のランはあくまでも一例です。どのような花が会場にて取り上げられるのかお楽しみに。

# 1月～3月に見ごろを迎える植物



11月～春頃

カレンジュラ '冬知らず'  
(カスケード・ログガーデン)



3月下旬～4月上旬

チューリップ  
(カスケード・花の進化園)



3月頃

ジンチョウゲ  
(花の進化園ほか)



3月下旬

ハクモクレン  
(花の進化園)



3月～4月

オオホウカンボク  
(大温室)



1月～2月

クンシラン  
(大温室)



1月下旬～2月

ツルバキア フラグランス  
(サボテン温室)



12月下旬～1月

アロエ チャバンセンニン  
(サボテン温室)



1月下旬～2月

ニホンスイセン  
(里山の野草園ほか)



3月上旬

カンザクラ (寒桜)  
(芝生広場)



3月～4月

シャクナゲモドキ  
(芝生広場奥)



3月下旬～4月上旬

ハナノキ  
(カエデ園入口)

カエデ園のハナノキのように、樹の高いところで咲く花は撮影が難しいです。時として、花の時期を見逃し、写真を撮る前に花が終わっていることもあります。身近なところで咲く花壇や温室の花も素敵ですが、視線を上げて木立の中を散策すると、新しい発見があることでしょう。[写真・文：久保 晴盛]



植物公園では、緑の相談窓口を設置しています。  
家庭園芸のお困りごと、何でもご相談ください。  
[☎082-922-3600 金曜を除く午後1時～4時]

**Q. ピカクシダの冬場の管理について、温度、水やり等気を付けるべき点がありますか？**

A. 種類ごとに耐寒性に差異がありますが、温度が15℃以上あればいずれの種類も生育を続けます。この場合、貯水葉や植え込み材の奥にしか水気を感じられなくなったら水を与えます。葉水も有効です。

冬越し温度については、オセアニア原産のヴィーチー（ベイチー）、スペルブム（スーパーバム）、ピフルカツム、ヒリーらは比較的寒さに強く5℃以上あれば冬越しできます。ちなみに、最も一般的に流通しているピカクシダは園芸品種‘ネザerland’で、ピフルカツム系です。また、ウィリンキーはオセアニア原産ですが、冬越しには10℃以上を保つことが望ましいです。その他の種類は東南アジア、アフリカ、南米の熱帯～亜熱帯原産で、12℃以上あることが望ましいです。生育温度未満～冬越し温度の範囲では生育停滞期となり、水やりは控え目とし、貯水葉や植え込み材の奥の方にも水気が感じられなくなっから行います。

なお、置き場所については、一般家庭では冬に室内に取り込むことが多いと思います。その場合は窓辺等、なるべく明るい場所で管理します（生育期の屋外管理では明るい日陰で育てます）。生育期および生育停滞期ともに風通しが重要で、サーキュレーター等で空気の流れを作ると上手く育てることができます。

[文 西内 良]

**Q. 春先に、キンギョソウの茎に白い綿毛のようなものが出てきて枯れてしまいました。原因と対策は？**

A. 菌核病の可能性がありますが、菌核病は糸状菌（カビ）が原因で発生する病気で、低温（15～20℃）で多湿な条件下で発生しやすいです。キンギョソウだけでなく、ストック、キンセンカ、野菜類など様々な植物に発生します。

菌核病は主に地際で発症します。初期は茎や葉に水浸状の斑紋が現れ、進行するにつれて病斑部が茶色く枯れて、湿度が高いと白くフワフワした菌糸が現れます。発症した部分から先の茎は水を吸い上げることが

できずに萎れていき、やがて枯れます。

発生した場合は発症した部分を切り取ったり、株ごと抜き取ったりした後に殺菌剤を散布することで他の株への感染拡大を防ぎます。

予防には、窒素を控えて栽培し、密植を避けたり混み合った部分を剪定したりするなど風通し良く保つことや、被害発生前に農薬を予防散布することが有効です。また、土壌改良等によって植付場所の排水性を良くすると、菌核病だけでなくそれ以外の病害虫の対策にもなります。

なお、原因菌は土の中で数年間生き残るため、病気が発生したところのある場所での連作や土の再利用は避けましょう。

[文 中川 悠]

**Q. 今年は、夏場の酷暑の影響か、桜が秋に咲いてしまった(いわゆる狂い咲き)という話題をよく聞きます。どうして、このような現象が起こるのでしょうか？**

A. 今年は園内でも、さとうそめい、八重紅虎の尾、八重紅彼岸などで秋にも少量の開花が見られました。

桜は夏に花芽形成をはじめ、秋から冬までに完了し、休眠して冬を越します。休眠はアブシジン酸(ABA)といわれる植物ホルモンが誘導しているといわれており、葉で作られて芽に送られていきます。

普通は、冬の間徐々にABAが減少し、花芽は休眠から覚め、その後、暖かくなると花芽が成長し、開花に至ります。

今年のように夏場が暑く、葉が異常落葉すると、ABAが十分に供給されないため、すでに完成した花芽が休眠することができず、さらに温度があるとそのまま開花してしまうことがあります。

実は、ここまで単純な話ではないのですが、酷暑のような様々なストレスが子孫を残そうとする状況を作り出している、というのが真実に近いように思います。

[文 富澤 まり]

## 秋のグリーンフェア2024 in 広島市植物公園 開催報告

令和6年10月26日（土）～11月4日（月・休）までの10日間、秋のグリーンフェア2024 in 広島市植物公園を開催しました。例年と異なる催しとして、5年ぶりに復活したミニ縁日コーナー（写真1）、やまぐちフラワーランドによる〇×クイズ（写真2）、広島市植物公園植物友の会による「ワークショップ～お絵かきでオンリーワンのプランターづくり～」（写真3）が行われました。

また、毎年行っている「見どころクイズラリー」ですが、今年はクイズを解くのではなく、現地に表示している文字を探してキーワードを完成させる「見どころめぐりラリー」として実施しました。加えて、今年はひろしまゲートパークで開催されたGreen Snap Marche HIROSIMA2024ともコラボし、ひろしまゲートパークのデジタルスタンプラリーに参加した方が植物公園に来園してスタンプを獲得することで、当園で採取した植物の種子をプレゼントするイベントも実施しました。

期間中に訪れた来園者は10,256人でした。11月2日は大雨により臨時休園となりましたが、最終日とその前日の開園記念日（11月3日）には1日の来園者数が3,000人を超え、特に賑わいを見せました。

[写真・文 中原 祥之]



写真1 ミニ縁日コーナー



写真2 やまぐちフラワーランドによる〇×クイズ



写真3 ワークショップ  
～お絵かきでオンリーワンのプランターづくり～

 広島市植物公園

広島市佐伯区倉重三丁目495

☎ 082-922-3600 📠 FAX 082-923-6100

- 開園時間 午前9時～午後4時半（入園は4時まで）
- 休園日 毎週金曜日
- 入園料 大人510円、高校生および65歳以上170円、中学生以下無料
- 駐車料 軽・普通自動車450円、中・大型車1,400円

